

# 常滑市立図書館基本構想策定委員会設置要綱

## (設置)

第1条 常滑市にふさわしい図書館を早期に再整備するに当たり、既存の図書室等を含めた市全体にわたる図書館サービスの内容、施設規模、蔵書規模等について将来を見据えた検討を行い、市民の利便性の確保と効率的な運営を実現する図書館基本構想を策定するため、常滑市立図書館基本構想策定委員会（以下「委員会」という。）を設置する。

## (所掌事務)

第2条 委員会は、次に掲げる事項を所掌する。

- (1) 常滑市立図書館基本構想の策定に関すること。
- (2) 前号に掲げるもののほか、市長が必要と認めること。

## (組織)

第3条 委員会は、委員10人以内で組織する。

2 委員は、次に掲げる者のうちから市長が委嘱し、又は任命する。

- (1) 常滑市副市長
- (2) 常滑市教育委員会教育長
- (3) 学識経験者
- (4) 図書館に関する有識者
- (5) 常滑市立図書館関係者
- (6) 常滑市立図書館関係団体の代表者
- (7) 学校図書館関係者
- (8) 図書館市民ワークショップを代表する者

## (委員の任期)

第4条 委員の任期は、委嘱又は任命の日から第2条に規定する事務が完了する日までとする。ただし、委員が欠けたときは、補欠の委員を選任することができる。

## (委員長及び副委員長)

第5条 委員会に、委員長及び副委員長を置く。

- 2 委員長は、常滑市副市長とする。
- 3 副委員長は、委員のうちから委員長が指名する者とする。
- 4 委員長は、委員会を総括する。
- 5 副委員長は、委員長を補佐し、委員長に事故あるときは、その職務を代理する。

## (会議)

第6条 委員会の会議（以下「会議」という。）は、必要に応じて委員長が招集し、委員長がその議長となる。

- 2 会議は、半数以上の委員が出席しなければ開くことができない。
- 3 会議の議事は、出席した委員の過半数で決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。

## (会議の公開)

第7条 委員会は、特別の事情がない限り公開とする。ただし、委員長が公開することが適当でないと認めた場合は、公開しないことができる。

2 傍聴人は、会議の進行を妨げる行為をしてはならない。

(意見聴取)

第8条 委員長は、必要があると認めるときは、委員以外の者を委員会に出席させ、意見を求めることができる。

(庶務)

第9条 委員会の庶務は、教育委員会教育部生涯学習スポーツ課及び企画部企画課において処理する。

(委任)

第10条 この要綱に定めるもののほか、委員会の運営に関し必要な事項は、委員長が別に定める。

附 則

この要綱は、令和7年5月1日から施行する。

## 常滑市立図書館基本構想策定委員会名簿

役職	所属・職名	氏名	備考
委員長	常滑市副市長	山田 朝夫	
副委員長	常滑市教育委員会教育長	土方 宗広	
委員	愛知工業大学建築学科教授	中井 孝幸	学識経験者
委員	中日新聞社論説委員	豊田雄二郎	有識者
委員	市民ワークショップ 統括ファシリテーター	井村 美里	有識者
委員	常滑市立図書館長	山際 史子	図書館関係者
委員	常滑市立図書館協議会長	平野 小月	図書館関係団体
委員	常滑市教育委員会教育部 学校教育課指導主事	中井 明子	学校図書館関係者
委員	図書館市民ワークショップ 代表者	赤尾 恵子	
委員	図書館市民ワークショップ 代表者	久田 博司	

(以上10名、順不同・敬称略)

## 開催概要

日時	議事
<b>第1回</b> 2025（令和7）年6月20日（金） 午後2時～午後4時	(1) 副委員長の任命について (2) 策定委員会の進め方について (3) 前提条件の整理について
<b>第2回</b> 2025（令和7）年9月25日（木） 午後2時～午後4時30分	(1) 第1回の議事要旨について (2) 第1回からの修正点について (3) 前提条件の整理について (4) 第3回・4回図書館ワークショップについて (5) 課題の整理について
<b>第3回</b> 2025（令和7）年10月20日（月） 午後2時～午後4時30分	(1) 第5回図書館市民ワークショップについて (2) 第2回常滑市立図書館協議会について (3) 第2回からの修正点について (4) 常滑市における課題の整理について
<b>第4回</b> 2025（令和7）年11月11日（火） 午後2時30分～午後4時50分	(1) 常滑市における課題の整理について
<b>第5回</b> 2025（令和7）年12月9日（火） 午後2時30分～午後5時	(1) 常滑市における課題の整理について (2) 基本方針について (3) 想定される機能及び費用について
<b>第6回</b> 2026（令和8）年1月16日（金） 午後2時～午後4時30分	(1) 基本方針について (2) 想定される機能及び費用について (3) 立地場所について (4) 整備費及び運営費の見込みについて
<b>第7回</b> 2026（令和8）年2月13日（金） 午後2時～午後4時20分	(1) 基本方針について (2) 基本理念について (3) 基本構想（素案）について
<b>第8回</b> 2026（令和8）年3月19日（木） 午後2時～午後4時	(1) 基本理念について (2) 委員コメントについて (3) 基本構想（素案）について

# 用語集

## あ行

索引	用語	説明	頁
あい	IC (アイ・シー) タグ	本やCDなどの資料に埋め込まれた小さな電子タグのことです。電波を使って非接触でデータを読み書きし、複数冊の同時貸出・返却、セキュリティゲートによる盗難防止など図書館の業務効率化と利用者サービスの向上を可能にする技術です。	108
	ICT (アイ・シー・ティー)	Information and Communication Technologyの略。コンピュータやインターネットなどを利用して、情報を伝達・共有・活用するための技術の総称です。	45, 54, 55, 70, 75, 77, 78, 90, 109
あす	飛香台地区、飛香台	常滑市の中央部に位置する、2000年代以降に開発された大規模な住宅地区です。常滑市民病院や消防本部、公園・緑地が整備され、人口増加が著しい新興住宅地となっています。こども図書室が入る常滑市の市庁舎もこの地区にあります。	11, 21, 74, 75, 76, 106
いつ	一括発注	建物の設計と施工を施工者にまとめて依頼する契約方式です。発注者の業務負担が少なく、工期短縮や、設計と施工の連携による品質安定化が期待できるメリットがあります。	117, 118, 119
	1歳とことこ教室	もうすぐ1歳になる乳児とその保護者を対象に、常滑市保健センターで毎月1回、集団指導を行うものです(2025(令和7)年度まで)。	33
	一般単独事業	地方公共団体が国からの補助金や負担金を受けず、自らの「一般財源」のみを用いて、自主的・主体的に実施する事業のことです。	110
いど	移動図書館	書籍などの資料と職員を載せた自動車や船などを利用して図書館から遠い地区の人や交通弱者のために、各地を巡回して、本の貸出・返却・予約などの図書館のサービスを提供する仕組みのことです。	16, 38, 66, 76, 77, 86
	移動式集密書架	限られた書庫の収蔵能力を高めるために、手動又は電動で、スチール製の書架列をレール上で前後・左右・上下に可動させることにより通路スペースを縮小させた書架群のことです。固定書架に比べ、大幅にスペースが節約できます。	93, 108
えす	SNS (エス・エヌ・エス)	Social Networking Serviceの略。インターネット上で人とつながり、情報や写真などを発信・共有できるサービスを指します。	45, 48, 80, 90

えす

えす	SPC (エス・ピー・シー)	Special Purpose Company の略。「特別目的会社」のことで、主にPFI事業などで、特定の事業を行うためだけに設立される法人のことです。リスク回避や資金調達の効率化を目的とし、事業完了後に清算されるのが一般的です。	116
	ST (エス・ティ)	Short Time の略。朝の会や帰りの会など点呼や担任の先生からの連絡事項を伝える場のことです。	41
える	LL (エル・エル) ブック	スウェーデン語の「Lättläst (やさしく読める)」の略で、障がいや認知症、あるいは日本語が母語でない人など、一般的な活字の読書が困難な人でも楽しめるよう、図や写真、簡単な言葉を多用して作成された「やさしく読みやすい本」のことです。	49
	LCC (エル・シー・シー)	Life Cycle Cost の略。建物の計画・設計、建設(イニシャルコスト)、運用・維持管理・修繕、最終的な解体・廃棄までに要する費用の総額のことで。	109

か行

索引	用語	説明	頁
かい	開架率	図書館が所蔵する全資料のうち、利用者が直接書架から自由に本を手にとれる「開架」エリアに配置されている資料の割合(%)のことです。	93, 108
	会議室予約システム	WEBサイトやアプリから24時間いつでも会議室・閲覧席・グループ室などの空き状況確認、予約、キャンセルができるオンラインサービスのことで。電話や窓口の混雑を避け、場所を選ばず予約できるため、利用者和管理者双方の利便性向上と業務効率化につながります。一般的に利用するには、事前の来館、登録手続が必要な場合が多いです。	109
かく	拡大読書器	目の不自由な人の読み書きを支援する機器です。文字を拡大したり、コントラストを調整したりすることで、文字や画像を見やすくモニタ等の画面に表示します。近年では、撮影した文字を音声に変換して読み上げる機器を含めて、視覚障がい者用読書器と呼ばれることが増えています。	49
かし	貸出密度	ある一定の期間(通常は1年間)における図書館の総貸出冊数を、その図書館のサービス対象人口(通常は住民人口)で割った指標で	91

		す。住民1人あたりの年間貸出冊数を示し、数値が高いほど住民が活発に図書館を利用（読書活動が盛ん）していることを表す指標です。	
がつ	学校図書館図書標準	1993（平成5）年に当時の文部省（現在の文部科学省）が定めた、公立の小学校・中学校・特別支援学校の図書館に備えるべき「蔵書数」の目標値のことです。学級数に応じて算出され、例えば18学級の小学校では約1万冊、15学級の中学校では約1万2,000冊の蔵書が目安とされています。	40, 52, 53
	学校司書	小・中・高等学校などの学校図書館において、図書の整理・配架、貸出、読書案内、レファレンスなどを専門に行う職員です。学校図書館法に基づき、図書館の運営改善と児童・生徒の読書活動、教員の授業支援を担います。なお、学校図書館法などによる資格要件は定められていません。	40, 52, 53, 54, 56, 78, 83
ぎが	G I G A（ギガ）スクール構想	文部科学省が2019（令和元）年から開始した取組で、1人1台端末や高速大容量の通信ネットワーク等の学校ICT環境を整備・活用することによって、教育の質を向上させ、全ての子供たちの可能性を引き出す「個別最適な学び」と「協働的な学び」を実現することを目的としています。	40, 52
きゅう	急傾斜地崩壊危険区域	傾斜角度30度以上、高低差5m以上の急斜面があり、その急斜面の崩壊によって被害を受ける一定以上の人家や公共施設がある場合、行為の規制が行われます。区域内で土地を触る工事を行うときには、原則として許可を受ける必要があります。	100
きちよ	貴重資料、貴重図書	歴史的、学術的、又は書誌学的に高い価値があり、一般書籍とは区別して特別に保存・管理される資料のことです。	22, 26
ぐる	グリーン	コミュニティバス グルーンの略。、ポートレースとこなめがレース場のパーク化の一環として、「本場」「モーヴィとこなめ」及び「グリーンとこなめ」への来場者の増加と各施設の利用促進とともに、市民・観光客をはじめ誰でも利用可能な交通手段としてのファンバスとして運行を開始しました。2025（令和7）年度からは、市の公共交通の骨格として市に移管され、ポートレースファンバス機能を併せ持ち、市の観光促進にも寄与するコミュニティバスとして運行しています。	10, 85, 96

## けん

けん	建築費指数	建物を建築する際の工事価格の変動を明らかにすることを目的に作成されている「建築工事に関する物価指数」のことです。毎年の建築費の動向を各都市別（札幌・仙台・新潟・金沢・名古屋・大阪・広島・高松・福岡の9都市）、構造種別（鉄骨鉄筋コンクリート造、鉄筋コンクリート造、及び鉄骨造）に2015（平成27年）を100として折れ線グラフで表示しており、物価としての建築費を時点間や地域間で比較することや、建築費の動向を時系列的に観察することが可能です。	107
こう	公営企業債	将来世代と負担を分かち合う「世代間負担の平準化」を目的に、水道、下水道、交通、病院など地方自治体の公営企業が、施設の建設・改良の資金を調達するために発行する地方債（借金）です。	112
	公共施設マネジメント	地方自治体が保有し、又は借り上げている公共施設を、自治体経営の視点から総合的かつ統括的に企画、管理及び利活用する仕組みを指します。各自治体において、今後、更新や修繕にかかる投資負担が集中して発生することが予想されており、社会環境の変化や地域特性に応じた適切な公共サービスの提供と安定した財政運営を両立させるために公共施設マネジメントを進めていく必要があります。	5, 6, 87
	公共施設等適正管理推進事業債	老朽化する公共施設の集約化・複合化・長寿命化・除却（取り壊し）費用などに適用できる地方債です。2026（令和8）年度まで延長されており、国の財政支援（交付税措置）により、地方自治体が財政負担を抑えて計画的な管理や効率的な空間利用を推進するための資金として活用されます。	121, 122
	工事監理、監理	主に建築主側の立場に立って、工事を設計図書と照合し、設計図書のとおり実施されているかいないかを確認することを言います。設計者が行う場合だけでなく、建築主側の担当者が行う事もありますが、建築基準法や建築士法の規定により、建築士でなければ、一定の用途・構造・規模等の建築物の工事監理は行うことはできません。	108, 116
	構造計算適合判定	一定規模以上の建築物において、高度な構造計算書が建築基準法に適合しているか、第三者機関（指定構造計算適合性判定機関）が専門的な見地から二重チェックを行う制度で、2007（平成19年）から義務化されています。	108

こう	交付税措置、交付税措置算定額	地方自治体が事業を行う際、その費用の一部を国が地方交付税（基準財政需要額）の算定に算入し、後年度の税財源として保障する仕組みです。実質的に国が費用を負担する形で自治体の財政負担を軽減し、安定した行政サービスを提供するために用いられます。	110, 121
	公民館図書室	社会教育法第 22 条第 3 号に基づき、市町村の公民館に設置される、地域住民向けの小規模な施設で、身近な情報拠点や、読書を通じた教養の向上・交流の場として機能します。	19, 20, 38, 57, 58, 59, 86, 87, 105, 124, 129
こう	公立図書館、公共図書館	公立図書館は地方公共団体が設置・運営する施設で、公共図書館はそれらと私立図書館を含めた、一般に広く公開された図書館の総称です。常滑市の図書館について言及する際は「公立図書館」を使用しています。	42, 43, 46, 52, 80, 83, 84, 89, 91, 125
こじ	個人貸出	図書館で個人（一般利用者）が利用者カードを使って本や紙芝居、資料を借りる冊数のことです。図書館の利用活性度や地域住民の読書量を測る指標となります。	22, 28, 29, 31, 38, 91
こど	子供、子ども、こども	公用文にあわせ、原則として「子供」の表記を採用していますが、文部科学省やこども家庭庁の法令、計画などの引用にあたっては、その題名（名称）のとおり記載しています。	—
こん	コンペ方式	複数の者から提出される事業目的に沿った企画提案の内容を審査し、「最も優れた企画提案」を選定し、その提案をした応募者を契約の候補として選定する方式です。プロポーザル方式と比べてより具体的な実施案・設計案の提出が求められ、発注者は、提案の中から事業目的を達成するために最適な「提案」を選定します。	117
	コンバージョン	既存の建物を別の用途（例えば、オフィスからマンション、倉庫から店舗など）に変更して再利用する手法です。リノベーションとは異なり、建物の使用目的そのものを変更する点が特徴です。新築に比べ、短工期、コスト削減、環境配慮などのメリットがある一方、追加コストの可能性や設計の制約といったデメリットもあります。	123

## さ行

索引	用語	説明	頁
さー	サービスポイント	図書館から離れた場所で資料の予約受取や返却を行うことができる施設で、一般的に駅や	18, 21, 76, 86, 120

		商業施設、公民館など、通勤・通学中や買い物ついでに手軽に利用できる場所に配置されており、多くは無人又は少人数の職員で運営されています。	
さい	債務負担行為	地方公共団体が複数年度にわたる建設工事や長期のリース契約など、将来の支出を伴う契約を行うため、地方自治法に基づき、将来の財政支出を約束する行為です。予算を会計年度ごとに編成・完結させることを原則とする会計年度独立の原則の例外として、数年分の事業を安定的に進めるために議会の議決を経て設定されます。	112
	サイレントコーナー	周囲の音を一切遮断し、最大限の静寂の中で集中して学習や読書を行うための専用スペースです。一般的に、私語・会話は厳禁で、グループでの学習や面談はできません。音の出る機器の制限（PCのキーボード入力、電卓の操作音も禁止）されることが多いです。	93, 94
ざい	財政調整基金	地方自治体が年度間の税収不足や災害、不測の支出に対応するため、余裕のある時に積み立て、不足時に取り崩す「貯金」のこと。地方財政法に基づく制度で、財政の健全な運営と行政サービスを安定的に提供するための重要な基金です。	112, 114
じしゅ	自主事業	本を借りる・返すという従来の役割を超え、図書館が主体となって企画・実施するイベントや講座のことです。読書推進、地域資料の活用、ICT教育（デジタルリテラシー向上）、交流の場作りを目的に、子供向け読み聞かせや情報リテラシー講座、展示会などを展開し、利用促進を図ります。	36, 44
ししよ	司書教諭	小・中学校等の学校図書館において、運営の中心的役割を担う専門的職務を持つ教員です。教員免許と所定の「司書教諭講習」修了資格が必要で、12学級以上の学校では司書教諭の配置が義務付けられており、読書指導、教材の整備、図書の収集・活用計画の立案を担当します。	40, 54, 78, 83, 84
しちよ	視聴覚資料	DVD、CD、ビデオテープ、レコード、カセットテープなど、主に映像や音声で情報を記録した資料のことです。常滑市立図書館では主にCD、カセットテープを所蔵しています。	3, 22, 25, 27
	市町村類型	総務省が作成した「類似団体別市町村財政指数表」のことで、国勢調査の結果を基に「人口」と「産業構造」により区分されます。	37, 38

じつ	実利用者数	ある一定期間内に図書の貸出サービスを利用した「実人数」のことです。延べ来館者数や延べ貸出人数とは異なり、同一人物が複数回利用しても1人とカウントされる図書館の活動規模を示す重要指標です。	28, 29, 32, 80, 83
して	指定管理、指定管理者、指定管理者制度	地方自治体が設置する図書館などの管理・運営を、民間企業やNPO法人などの「指定管理者」に包括的に委託する制度で、2003（平成15）年の地方自治法改正で導入されました。窓口業務委託などと異なり、当該施設の管理運営を広く行うことができます。	16, 22, 27, 36, 55, 109, 116, 128
じど	自動貸出機	利用者が貸出カード（又はバーコード）をかざし、本を台に乗せるだけで、カウンターに行かず自分で貸出手続きができる機器です。ICタグ技術を利用し、複数冊の同時処理やレシート発行が簡単にできるため、待ち時間短縮、プライバシー保護、非接触での貸出が可能です。セルフ貸出機と呼ばれることもあります。	80, 108, 109
しゅう	集約化	公共施設マネジメントの分野で使われる言葉で、同じ機能を持つ施設をまとめて1か所に集中・縮小させることで利便性や相乗効果を高めることが可能です。異なる機能（例えば図書館と公民館）を1つの建物に混在させる複合化とは異なります。	5, 121
しょう	障がい者、障害者	「障害」という言葉が、前後の文脈から人や人の状態を表す場合は、「障がい」と表記します。例外として、法令、条例、要綱等及びそれらで定められている用語、制度、事業等の名称で漢字表記が使用されている場合、団体名、機関名、施設名等の名称で漢字表記が使用されている場合、医学用語等の専門用語として漢字表記が適当な場合などは「障害者」の表記を使用しています。	—
じよせ	除籍	図書館などで、汚損・破損、利用頻度の低下、紛失などを理由に、所蔵データ（台帳）から抹消することです。新しい本を置くスペース確保や、書棚の鮮度を保つために定期的に行われ、除籍された本は処分又はリサイクル（無料配布や譲渡）されます。	25, 26, 33, 78
しん	森林計画区域	森林法に基づき都道府県知事が指定する、国有林を除く民有林（私有林、公有林）の計画的な整備や保全を目的とした区域です。5年ごとに見直される10年間の計画対象で、この区域内では立木の伐採や開発行為に、都道府県への事前の届出や許可が必要となります。	99

じん

じん	人口ピラミッド	ある地域や国の人口構成を年齢別、性別別に示したグラフです。通常、縦軸に年齢層を、横軸にその年齢層の人口数（又は比率）を配置し、男女別に左右に分けて表示します。このピラミッドは、社会の年齢構成を視覚的に理解するのに役立ち、人口動態、社会政策の策定、市場分析などに使用されます。	13
せい	生活環境保全条例	愛知県公害防止条例を全面改正し、都市生活型公害、地球温暖化、化学物質による環境リスク、土壌・地下水汚染などの様々な環境問題への対策を盛り込んだ「県民の生活環境の保全等に関する条例」の略称です。特定施設の設置には届出や基準遵守が必須であることや、汚染土壌処理業などは許可制となること、過去に特定有害物質の取扱いが認められた土地で3,000m <sup>2</sup> 以上の土地改変時における調査義務などが定められています。	104
	生産年齢人口	15歳以上65歳未満（15～64歳）の人口層のことで、経済活動の「中核となる働き手」を指します。労働力や社会保障を支える人口であり、実際に働いている人や働く意思がある「労働力人口」とは区別されます。	13, 42, 85
せき	積算業務	建築・土木工事において、設計図書を基に必要な材料・人員・機材の量（数量）を計算し、それに基づいて合計工事費を事前に算出する仕事です。図面から「コンクリート〇m <sup>3</sup> 」、「鉄筋〇トン」のように図面から情報を読み取り、材料の拾い出しを行い、値入、労務費の算出、提出書類の作成を行うことでコストを予測する役割を担います。	108
せん	選書	膨大な出版物の中から、利用者のニーズや図書館の収集方針に基づいて、購入する資料を選定する、蔵書構成における最も重要な業務の一つです。市立図書館では、広く市民に利用していただくため、図書館職員の知識を生かし幅広い分野の収集、地域資料の収集など一定の基準に基づき選書を行い、予算の範囲内で購入しています。	44, 52
ぞう	蔵書回転率	図書館の蔵書が一定期間（通常1年間）にどれくらい貸し出されたかを示す指標で「年間合計貸出冊数÷蔵書総数」で計算されます。1冊の蔵書が平均何回貸し出されたかを表し、この数値が高いほど資料が効率的に利用されており、低いと利用が停滞していると判断される重要な指標の一つです。	79

ぞう	蔵書点検	利用環境の維持を目的として行われるいわゆる「本の棚卸し」作業で、主に年1回、1～2週間程度の臨時休館期間(特別整理期間)に行われ、所在不明本の確認、棚の配列修正、汚損本の補修・廃棄などが行われます。	40, 44, 128
そー	ソーシャルメディア	インターネット上で誰もが手軽に情報を発信・共有・相互交流できる双方向のメディア(プラットフォーム)の総称です。Facebook、X(旧Twitter)、Instagram、などのSNS、YouTube等の動画サイト、LINEなどのアプリが含まれ、個人や企業が情報をリアルタイムに拡散・共有する場として活用されています。	45
ぞー	ゾーニング、ゾーニング計画	建築設計などの空間デザインにおいて、目的や機能(業務、パブリック、プライベートなど)に応じてエリア(ゾーン)を区分し、配置する計画のことです。用途の明確化と動線計画により、利便性や効率性、環境の快適性を向上させる手法です。図書館では、「利用者の使いやすさ」と「職員の管理・運営のしやすさ」、図書館という一つの建物(空間)の中での音環境(静・動)の検討が重要となります。	81, 128

## た行

索引	用語	説明	頁
たい	耐力度調査、耐力度診断	老朽化した建物に対して建物の構造耐力、経年による耐力低下、立地条件による影響の3点の項目を総合的に調査し、建物の老朽化を総合的に評価するものです。	23
だい	大活字本	視力の弱い方や、高齢で文字が読みづらくなった方にも読みやすいように、文字の大きさや行間等を調整し、大きな活字で組みなおした本です。	26, 49, 85
たに	谷川文庫、谷川徹三文庫	常滑市出身の哲学者、谷川徹三先生から寄贈された図書・雑誌による文庫です。哲学、倫理学、歴史、芸術(特に陶磁工芸)、文学など多岐にわたる分野の書籍が含まれ、「谷川徹三を勉強する会」が中心となり、資料の整理や翻刻が行われています。	16, 26, 79, 106
だん	団体貸出	学校、保育園、読み聞かせグループなどの団体に対し、通常の個人貸出よりも多くの冊数と長い期間(常滑市立図書館では100冊、1か月)で本や紙芝居を貸し出す制度で、地域での読書活動や調べ学習の支援を目的に、団体用カードを作成して利用します。	5, 26, 34, 86, 125

ち  
い

ちい	地域間流動	市区町村や都道府県の境界をまたいで転入・転出があった人の移動状況を指します。主に「過去5年間の居住地移動（転入・転出）」と「通勤・通学による日常的な流入・流出（昼夜間人口）」2つの観点で集計・分析されます。	13, 14
	地域資料	その図書館がある自治体や地域に関する歴史、文化、産業、行政情報など地域に関する全ての資料のことです。市町村史、地域住民の著作、地図、写真、行政刊行物など、その地域でしか入手できないものが多く、地域アイデンティティの継承や調査・研究に活用されます。以前は「郷土資料」とも呼ばれました。	24, 26, 47, 79, 93, 106, 126
ちゅう	中央館	自治体内の複数の図書館の中で、本館としての機能を持つ、中心的な図書館のことです。他の分館を統括するほか、豊富な蔵書、地域資料の保存、レファレンスサービス、広域的な調査相談など、その自治体の図書館サービスの基幹的な役割を果たします。	86, 105, 106, 124, 129
	昼間人口	就業者又は通学者が従業・通学している従業地・通学地による集計の結果を用いて算出された人口です。昼間人口は、ある地域に常住する人口から、その地域から通勤者又は通学者として流出する人口を差し引き、その地域へ通勤者又は通学者として流入する人口を加えることで算出されます。	15, 29
ちよう	長期包括委託	自治体などが単年度・個別に行っていた施設管理を、5～20年程度の長期かつ包括的に民間事業者へ一括委託する手法です。民間のノウハウ活用で運営コスト削減と効率化を図り、安定的な施設運用を実現する手法として注目されていますが、自治体側のチェック体制や契約締結時に高度な専門知識が必要など課題もあります。	116
	長期修繕	学校、庁舎、公営住宅などの公共建物を長く安全に使うため、30年程度の長期的な視点で、計画的に行う点検・修繕・更新です。老朽化対策として、大規模修繕や設備更新の時期と費用を明確にし、財政負担の平準化と維持管理の効率化を図るとともに、事後対応ではなく、計画的な点検・修繕により劣化を未然に防ぐ予防保全の実施を目的とします。	109
でいー	DX（デジタル・トランスフォーメーション）	Digital Transformation の略。デジタル技術を活用し、仕事の進め方やサービスの仕組みを大きく変え、より便利で新しい価値を生み出します。	44, 52, 80, 90, 128

でいす	ディスレクシア	知的能力に遅れはないものの、脳の機能的な特性により、一般的な理解能力などに異常はないものの、文字の読み書き学習に著しい困難を抱える学習障害（LD）の1つです。音韻処理（文字と音の対応）が苦手な、ひらがな、カタカナ、漢字の習得に時間がかかったり、誤字脱字が多かったりする特性があります。	49, 85
でじ	デジタルアーカイブ	長期保存や劣化防止を目的に、文化財、公文書、美術品、書籍などの貴重な知的資源をデジタル化（映像・音声・3Dデータ化）し、ネット上で誰でも検索・閲覧できるようにする仕組みです。	54, 126
でん	電子書籍、電子図書館、電子図書館サービス	パソコンやスマホ、タブレットを使って、24時間いつでもどこでも無料で電子書籍を借りて読めるサービスのことです。返却も自動で行われるため、来館不要で、文字の拡大や読み上げ機能が利用できるなど、便利な新しい図書館の形です。利用可能な回数があることや貸出可能な資料が限られていること、紙の資料に比べて費用が高いことといった課題があります。	43, 46, 52, 54, 57, 61, 66, 75, 79, 91, 108, 128
とう	当初予算要求	翌年度の予算編成において、各府省庁や部局が財務省（又は自治体の財政担当部局）に対して提出した、予算要求段階の金額（原案）を指す言葉で「概算要求」とも呼ばれ、最終的に政府や自治体として決定される「当初予算案」の前段階の数値です。常滑市では例年10月中旬頃までに、各課室から財政課に対して予算要求書が提出されます。	114, 115, 127
とく	特別会計	国や地方自治体が特定の事業を行う際に、その事業の資金運営状況や収支損益を明確にするため、一般会計と切り離して、設置される独立した会計のことです。自治体では、国民健康保険、介護保険、水道事業、病院事業などがあります。	112
	特別整理期間	全蔵書の点検（蔵書点検）、配架の修正、破損資料の修理などを効率的に行うため、1年に一度、一定期間（数日～10日程度）臨時休館して行う集中的な整理作業期間のことです。紛失・未返却資料の特定、書架の整理、施設修繕も実施し、より快適に利用するための必須期間です。	19, 20, 21
どく	読書通帳	銀行の預金通帳を模した冊子に、図書館で借りた本のタイトル、著者名、貸出日などの記録を印字（又は記入）し、読書の履歴を「貯金」	36

		のように残せるアイテムです。子供の読書意欲向上や達成感につながるとして、多くの自治体で導入されています。専用の「読書通帳機」に通帳を差し込んで印字するタイプが主流ですが、手書きタイプや、シールを貼るタイプも存在します。	
としよ	図書館システム	図書の貸出・返却、蔵書検索（OPAC）、予約、購入、管理などの業務を効率化・自動化するITシステムです。バーコードやICタグで効率的な管理を実現し、利用者向けにWEBサイトやスマホアプリでの予約・検索機能を提供することが可能です。	54, 91, 107 128

な  
行

索引	用語	説明	頁
にゅう	乳幼児	乳児と幼児をまとめて呼ぶときの名称です。「乳幼児期の」などと記されている場合は、0歳から小学校就学前までの子供を指すこととなります。	3, 4, 51, 82, 106

は  
行

索引	用語	説明	頁
はい	配架計画	図書館の配架計画とは、蔵書を分類・請求記号順に効率よく書架に配置するため、書架レイアウトやスペース管理、利用者動線を一体的に設計する計画のことです。本の魅力を引き出し、利用者が必要な本を容易に探し出せるためや、快適な閲覧空間を創出するために重要となります。	128
はつ	ハッシュタグキャンペーン	X（旧 Twitter）、InstagramなどのSNS上で、企業や自治体などが指定した「#（ハッシュタグ）」をつけて投稿することで参加できる、ユーザー参加型のキャンペーンのことをいいます。ユーザー側は手軽に参加でき、企業や自治体側は、情報の拡散や認知拡大を狙えるため、近年では、SNSマーケティングの定番手法となっています。	80
ぴー	PFI（ピー・エフ・アイ）	Private Finance Initiativeの略。公共施設の設計・建設・維持管理・運営に民間の資金と技術（ノウハウ）を活用する手法です。従来の官主導型と異なり、民間が資金調達と一括管理を行うことで、低コストで高品質なサービス提供や効率的な整備が期待されます	116, 117, 118, 119

びぶ	ビブリオバトル	京都大学大学院の谷口忠大教授が考案した、ゲーム感覚を取り入れた新しいスタイルの「書評合戦」です。発表者（バトラー）がおすすめの「本」を1人5分で紹介し、参加者全員で「どの本が一番読みたくなったか」を投票して「チャンプ本」を決めます。キャッチコピーは「人を通して本を知る、本を通して人を知る」で、楽しみながら読書の幅を広げるコミュニケーションツールです。	52
へい	閉架（へいか）	図書館の書架には、開架と閉架の2種類があり、来館者が見ることができる部分を開架といい、普段見ることができない部分を閉架といいます。閉架部分には受入から相当年数が経過した資料や、利用頻度が著しく低い資料、貴重な地域資料などが置かれています。	17, 19, 79, 93, 106, 107, 108, 128
びい	VFM（バイ・エフ・エム）	Value For Money の略。「支払った対価（Money）に対して、いかに価値（Value）の高いサービスを得るか」という、特にPFI事業における重要概念です。従来の公共事業と比べて、より効率的に良質なサービスを提供できるかを定量的に判断する指標として用いられます。	116
ふく	複合化	図書館、公民館、学校、行政窓口など、異なる用途・目的を持つ複数の公共施設を1つの建物や敷地に集約・統合することです。人口減少や財政難を背景に、施設維持費の削減、利便性の向上、防災拠点機能の強化を目的として進められています。	5, 6, 17, 23, 57, 76, 121, 122
	複式学級	少子化や過疎化などで児童・生徒数が少ない場合に、1人の教師が2つ以上の学年を1つの教室で同時に指導する学級形態です。文部科学省の基準により、合計人数が少ない場合（小学校では一般に16人以下など）に編成することができます。	23
	複本	1つの図書館や図書室が、同じタイトル・内容の書籍を2冊以上所蔵している状態、又はその本のことです。人気作の貸出し待ちを解消するために複数購入されることが多いです。	26
ぶつ	ブックトーク	1つのテーマに沿って、色々な本を幅広く紹介する手法のことです。「読み聞かせ」のように最初から最後まで読むのではなくて、本のあらすじを紹介したり、一部分だけ読んだりして、聞き手に「おもしろそう」「この続きはどうなるんだろう」「読んでみたいなあ」という気持ちになってもらうことで、実際に本を手にとって読んでもらうことにつながります。	5, 26, 34, 78

ぶつ	ブックポスト	図書館の閉館時や休館日でも本を返却できる、入口付近などに設置された無人の回収箱です。24時間利用可能なものが多く、スチールやステンレス製の耐久性の高い箱が一般的です。近年では図書館以外に、他の公共施設や商業施設などにも配置されており、より利用がしやすくなっています。なお、CDやDVDなどの映像・音楽資料は破損の恐れがあるため通常は利用できず、カウンターへの直接返却が必要なことが多いです。	16
ふど	不読者	一定期間(主に1か月間)に本を1冊も読まない人を指す言葉です。文部科学省や全国学校図書館協議会の調査で用いられ、特に中高生や成人の「読書離れ」を示す指標です。	51, 83
ふど	不読率	一定期間(主に1か月)に本を1冊も読まなかった人の割合を示す指標です。2023(令和5)年度に行われた文化庁の「国語に関する世論調査」では16歳以上で6割以上、全国学校図書館協議会が行っている「学校読書調査」でも高校生は5割前後を推移しており、読書離れが注目されています。	54, 83
ぷろ	プロポーザル方式	複数の者から事業目的に沿った企画提案の提出を受け、提案内容を審査し、「企画内容や業務遂行能力が最も優れた者」を契約の候補として選定する方式で、コンペ方式のように詳細な実施内容案・設計案までは求められません。発注者は、事業目的を達成するために最適な「提案者」を選定します。	117
ほう	放課	通常は学校でその日の全授業が終わることを指す言葉ですが、東海地方では、授業と授業の間の「休み時間」や「休憩時間」を指す方言としても使われており、例えば「10分放課」のように表現されます。	41, 82

## ま行

索引	用語	説明	頁
むじ	無人自動受取機	駅や公共施設などに設置されたロッカー型の端末で、図書館の閉館時間や休館日でも予約した本や資料を好きな時に受け取れるシステムです。利用者はカードやスマートフォンの画面をかざし、自動で貸出と受け取りが完了するため、忙しい人でも手軽に利用できるのが特徴です。	120

## や行

索引	用語	説明	頁
やさ	やさしい日本語	外国人、子供、高齢者、障がいのある人にも伝わりやすい、簡単な日本語のことです。文章を短くし、難しい漢語・カタカナ語・敬語を言い換え、必要な情報だけを伝えます。1995（平成7）年の阪神・淡路大震災を機に、災害情報を伝える目的で考案されました。	54, 85
やん	ヤングアダルト（YA）	Young Adult の略。アメリカで使われ始めた言葉で、「若い大人」「大人になりつつある人」を指し、子供から大人への転換期にある13歳～18歳の中高生世代のことです。ワイエーと略される場合もあります。図書館においては、これらの世代を対象とした児童書と一般書間の図書のカテゴリーを指します。	24, 26, 31, 128
よう	用途地域	都市計画法に基づき、住居、商業、工業など市街地の大枠としての土地利用を定めるもので、13種類あります。自治体の計画などにより市街化区域内の土地について用途地域が指定されると、それぞれの目的に応じて、建てられる建物の種類が制限されるなど、建築基準法と連動することにより、適切な土地利用が誘導されることとなります。なお、図書館は用途地域による制限はありませんが、文化会館などのホールは、建築基準法上では「劇場」に該当するため、主に商業地域や準工業地域、近隣商業地域などでしか建設できないなど制限があります。	99, 100, 101, 102
やや	予約本受取コーナー	予約した資料を専用カウンターや自動受取機でスムーズに受け取れるサービスです。利用者カードが必須で、一般的に取り置き期間が設けられており、期間を過ぎると自動的に予約がキャンセルされます。	80

## ら行

索引	用語	説明	頁
らい	ライフステージ	就職、結婚、出産、子育て、老後など人生の節目により区切られる「生活段階」のことです。	4, 65
りゅう	流入超過、流出超過	流入超過とは、流入通勤（通学）者から流出通勤（通学）者を差し引いた通勤（通学）者を行います。常住就業（通学）者に対する昼間就業（通学）者の純増分を意味します。流出超過はその逆の状態を表します。	13, 14

れ ふ あ	れふあ	レファレンス  司書などが利用者の調査・研究、調べ物のお手 伝いをするサービスのことで「探している本 が見つからない」「〇〇について書かれた資料 を知りたい」といった質問に対し、適切な資 料、情報源、検索方法を提案・提供する業務で す。	26, 44, 81
-------------	-----	---	------------

## 常滑市立図書館基本構想（令和8年4月策定）

発行 常滑市・常滑市教育委員会  
編集 常滑市教育委員会教育部生涯学習スポーツ課

〒479-0003 常滑市金山字下砂原 78-1  
TEL 0569-44-4600（直通）  
FAX 0569-43-8011